

れいわ ねん がつ にち げつ
令和7年7月29日（月）10:00～

れいわ ねんど だい かい かいづ し た ぶん か きょうせい すい しん きょう ぎ かい
令和7年度 第1回海津市多文化共生推進協議会

がいこくせきしみんとまきげんじょう
外国籍市民を取り巻く現状について

かいづ し げんじょう こんご きたい
海津市の現状と今後への期待

とうかいこくりつだいがくきこう ぎふだいがく
東海国立大学機構 岐阜大学

すいしんきこう にほんご にほんぶんかきょういく
グローバル推進機構 日本語・日本文化教育センター

まつお のりあき
松尾 憲暁 (matsuo.noriaki.i6@f.gifu-u.ac.jp)

令和7年7月全国知事会議 (令和7年7月23日、24日開催)

外国人の受入と多文化共生社会実現に向けた提言 (令和7年7月23日)

I 育成就労制度について

地方における人材不足は深刻であり、今後、運用の詳細が検討される「育成就労制度」においては、国と地方の適切な役割分担のもと、全国各地域の実情に応じた制度設計と運用が求められることから、以下の事項を検討・実施すること。

II 外国人の受入環境整備について

国、地方、民間が適切な役割分担に応じて受入環境の整備を進めていくには、事業者や地方自治体の枠を超えて対応すべき課題については、国が主体となって制度設計や運用を行うとともに、国として責任をもって財源措置等を行うべきである。このため、外国人の受入環境の整備について以下の取組を検討・実施すること。

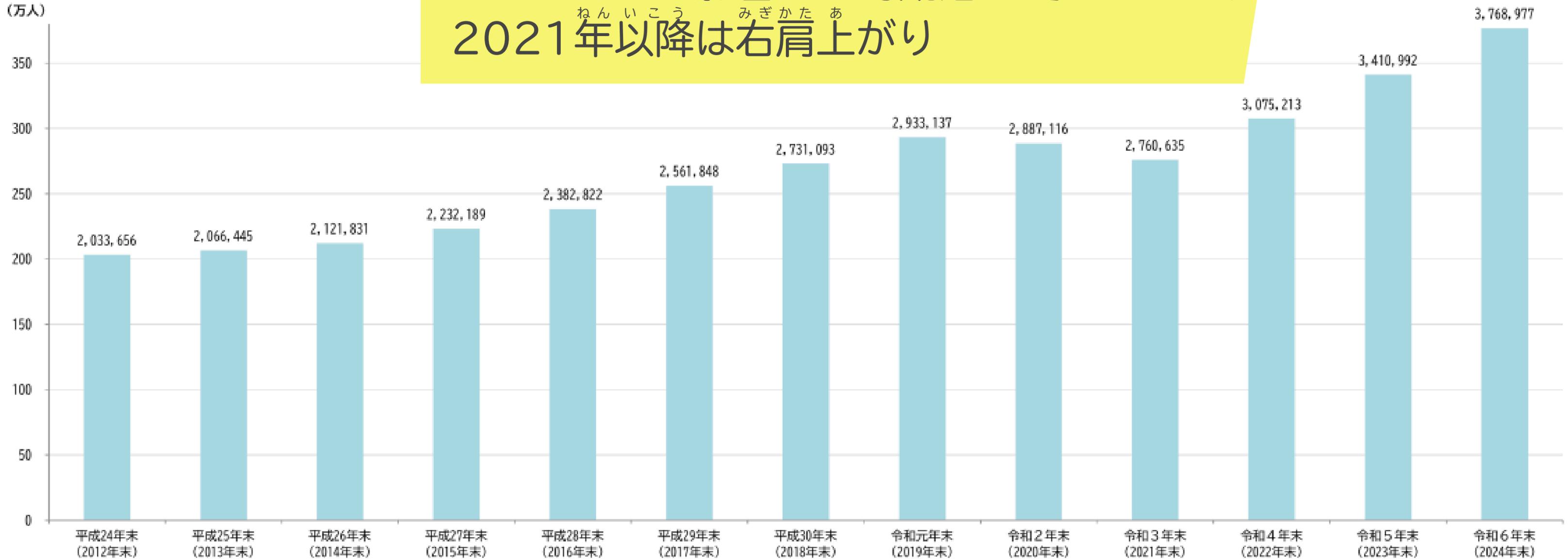
III 基本法の制定と司令塔となる組織の設置について

「育成就労制度への円滑な移行」と「外国人の受入環境整備」の提言を実現するためには、外国人の受入れ、多文化共生施策実施の根幹となる国としての戦略が求められることから、以下の取組を検討・実施すること。

全国の在留外国人数の推移

Covid-19の影響で一時期落ち込むものの、
2021年以降は右肩上がり

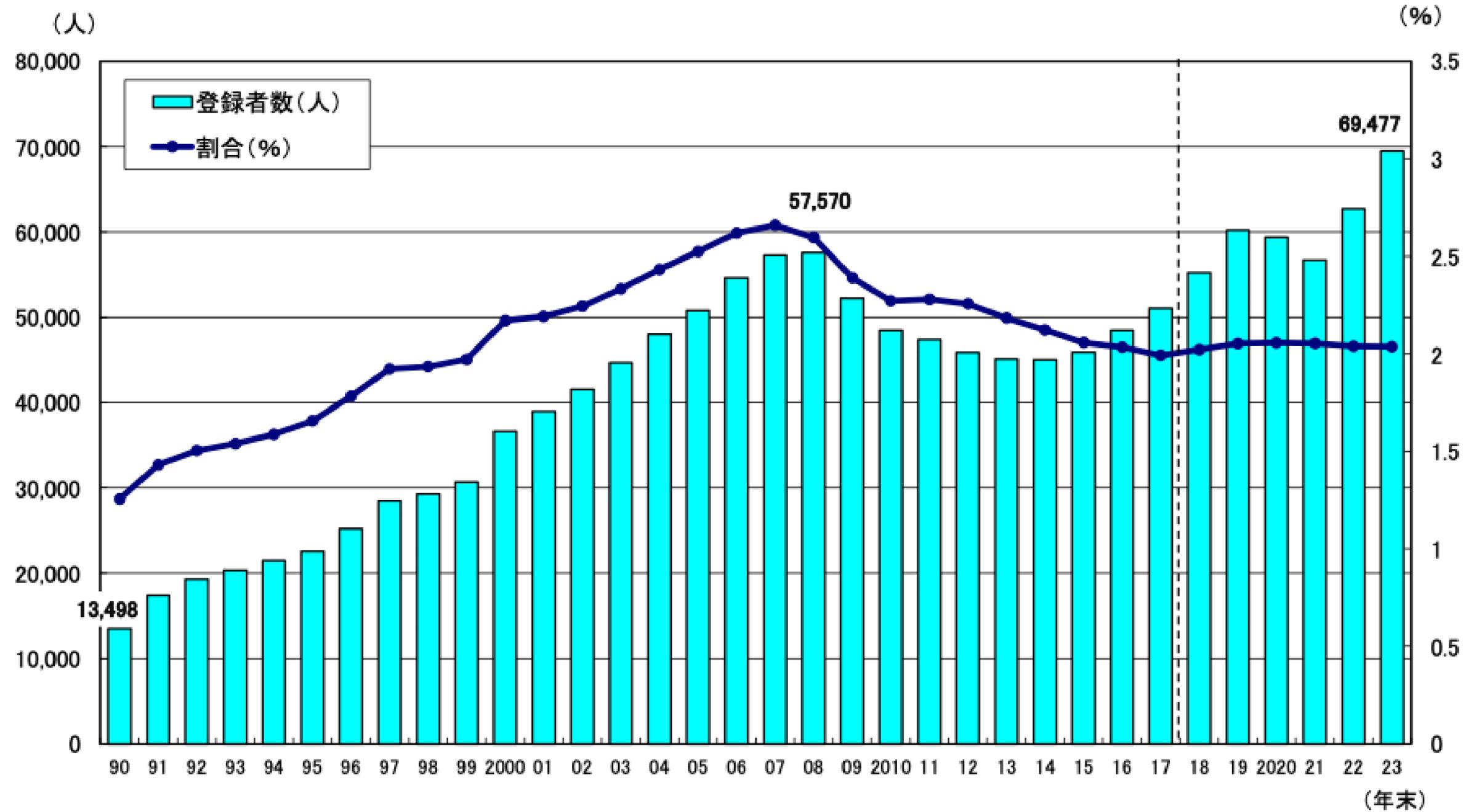
約377万人



出典：出入国在留管理庁「令和6年末現在における在留外国人数について」

岐阜県内の在留外国人人数と全国に占める割合の推移

岐阜県環境エネルギー生活部統計課まとめ



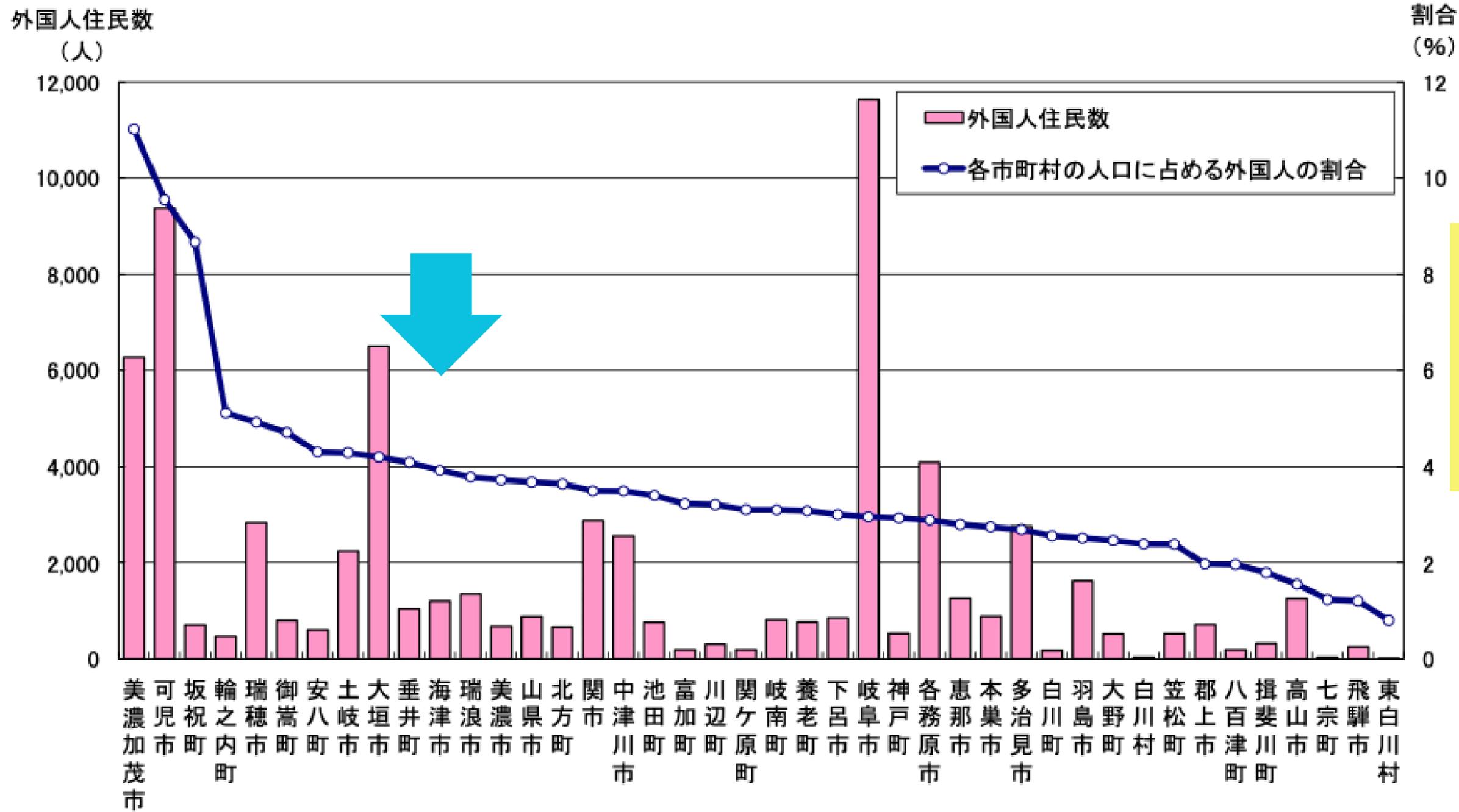
登録者数：約7万人
 全国に占める割合：約2%

全国に占める割合は横ばいだが、人数は増加傾向

出典：法務省「外国人登録者統計」(～2011年)、
 「在留外国人統計」(2012年～)

岐阜県内の外国人住民数と各市町村の推計人口に占める割合 (2024年6月末現在)

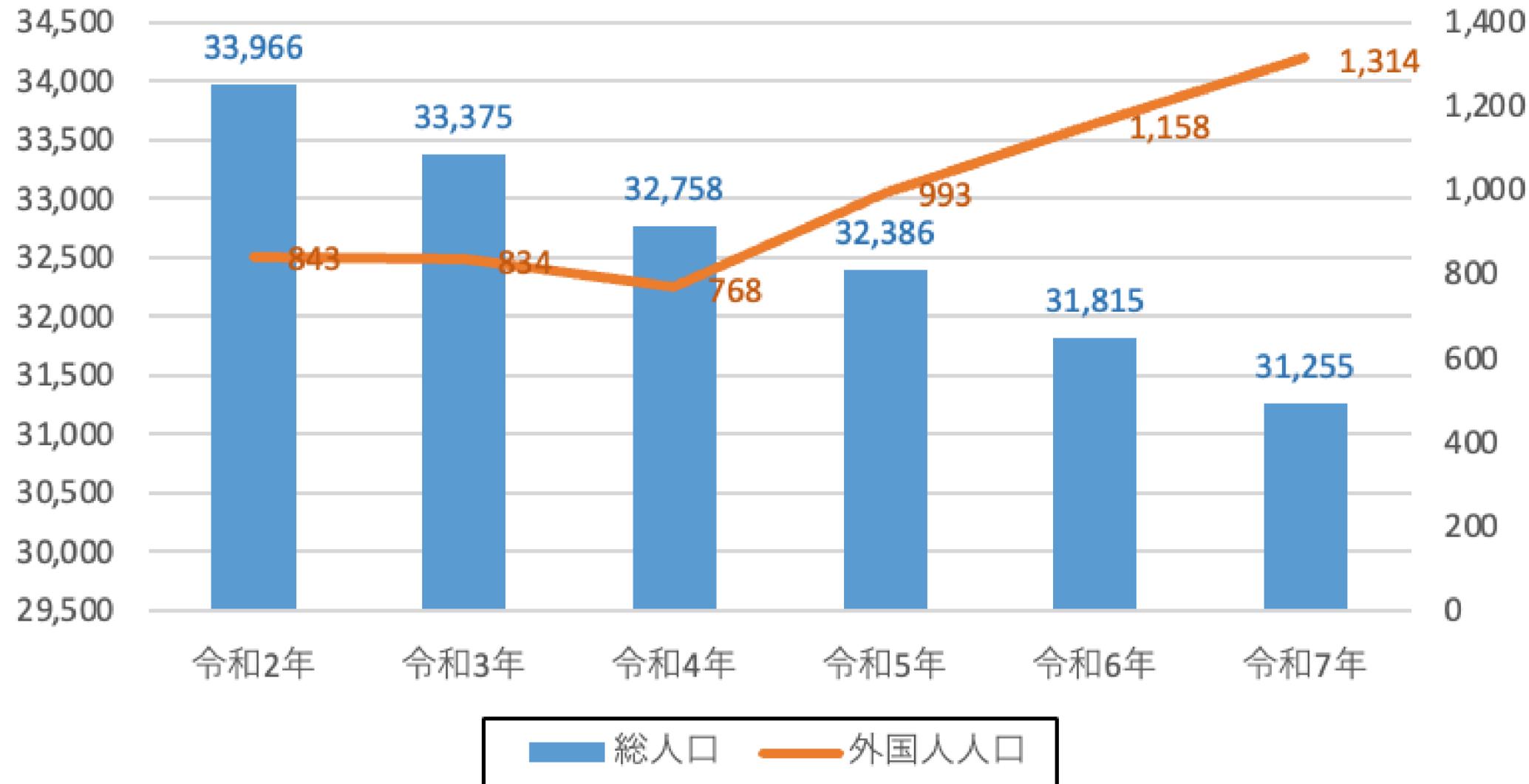
岐阜県環境エネルギー生活部統計課まとめ



人数はまだ多いとは言えないが、推定人口に占める割合は高い

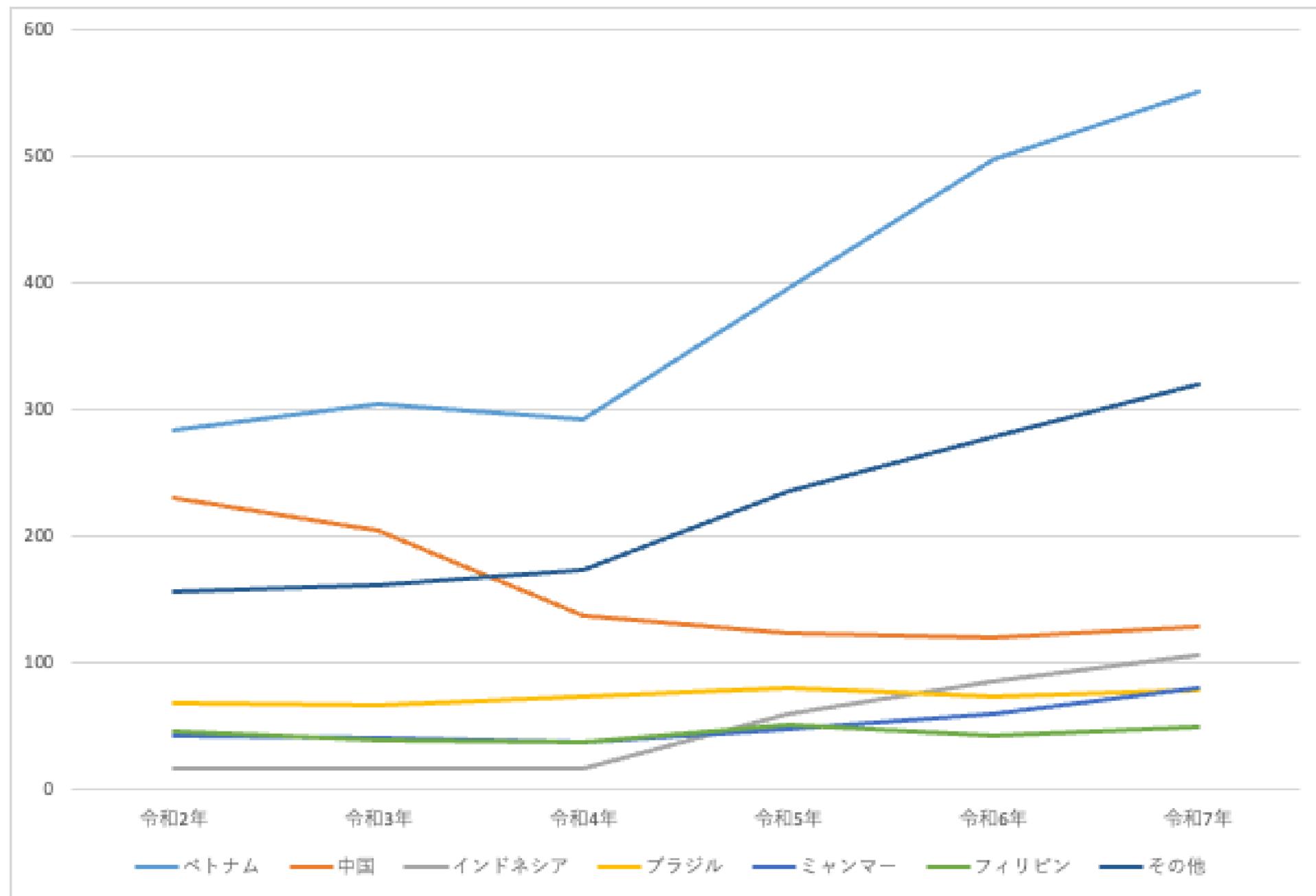
出典：法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計（2024年6月末現在）」、割合は岐阜県「人口動態統計調査」による推計人口（2024年7月1日現在）により算出。

海津市の総人口と外国人人口の推移



じんこうげんしょう すす
人口減少は進むが、
がいこくじんじんこう
外国人人口は
れいわ ねんいこう ぞうか けいこう
令和4年以降増加傾向

かいづし こくせきべつじんこう すいい 海津市の国籍別人口の推移



551 ベトナム

321 その他^た

128 中国^{ちゅうごく}

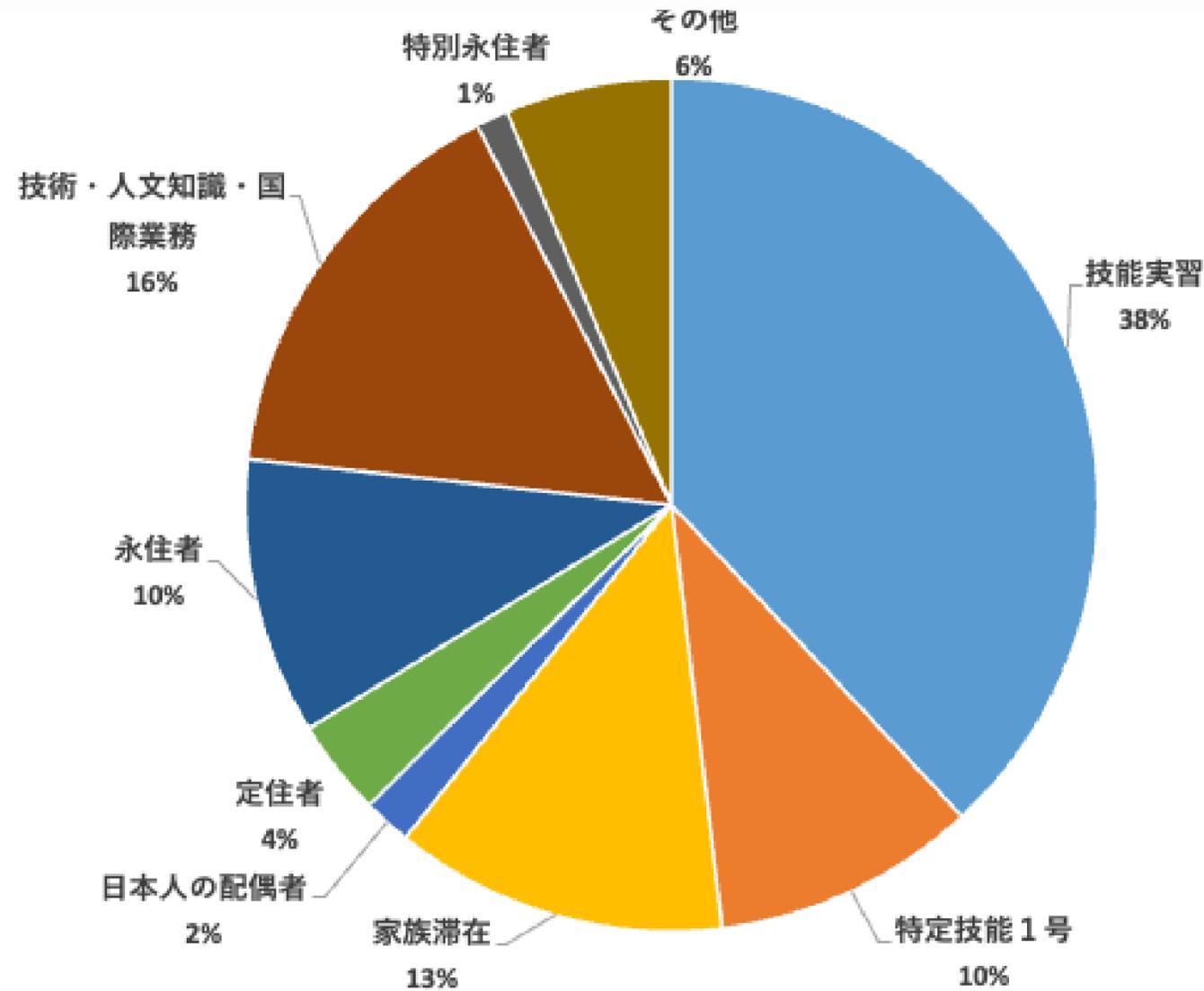
106 インドネシア

80 ミャンマー

50 フィリピン

海津市の在留資格別人口割合

(令和7年度4月1日 現在)

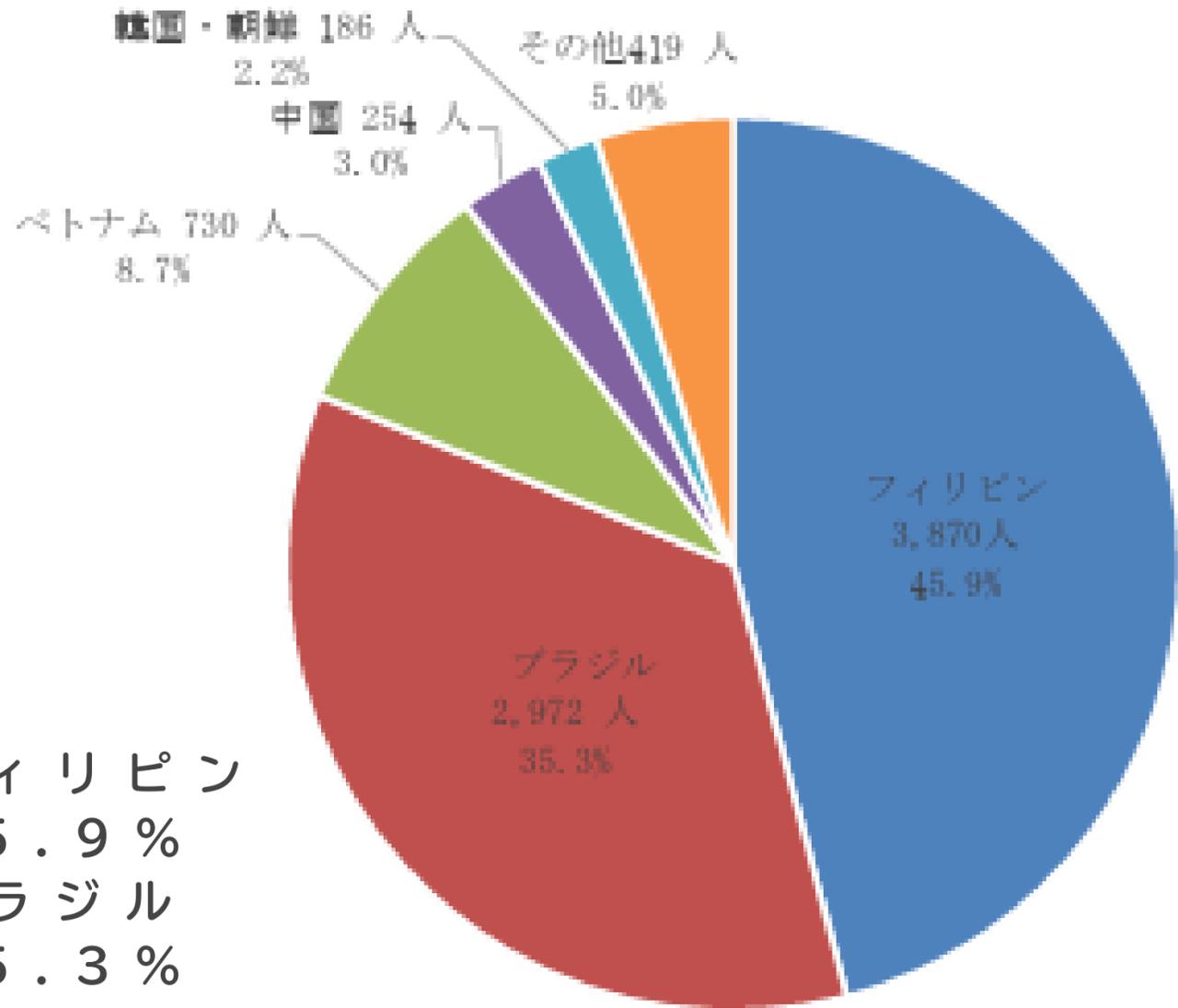


技能実習 (38%)、技人国 (16%)、
家族滞在 (13%) の順

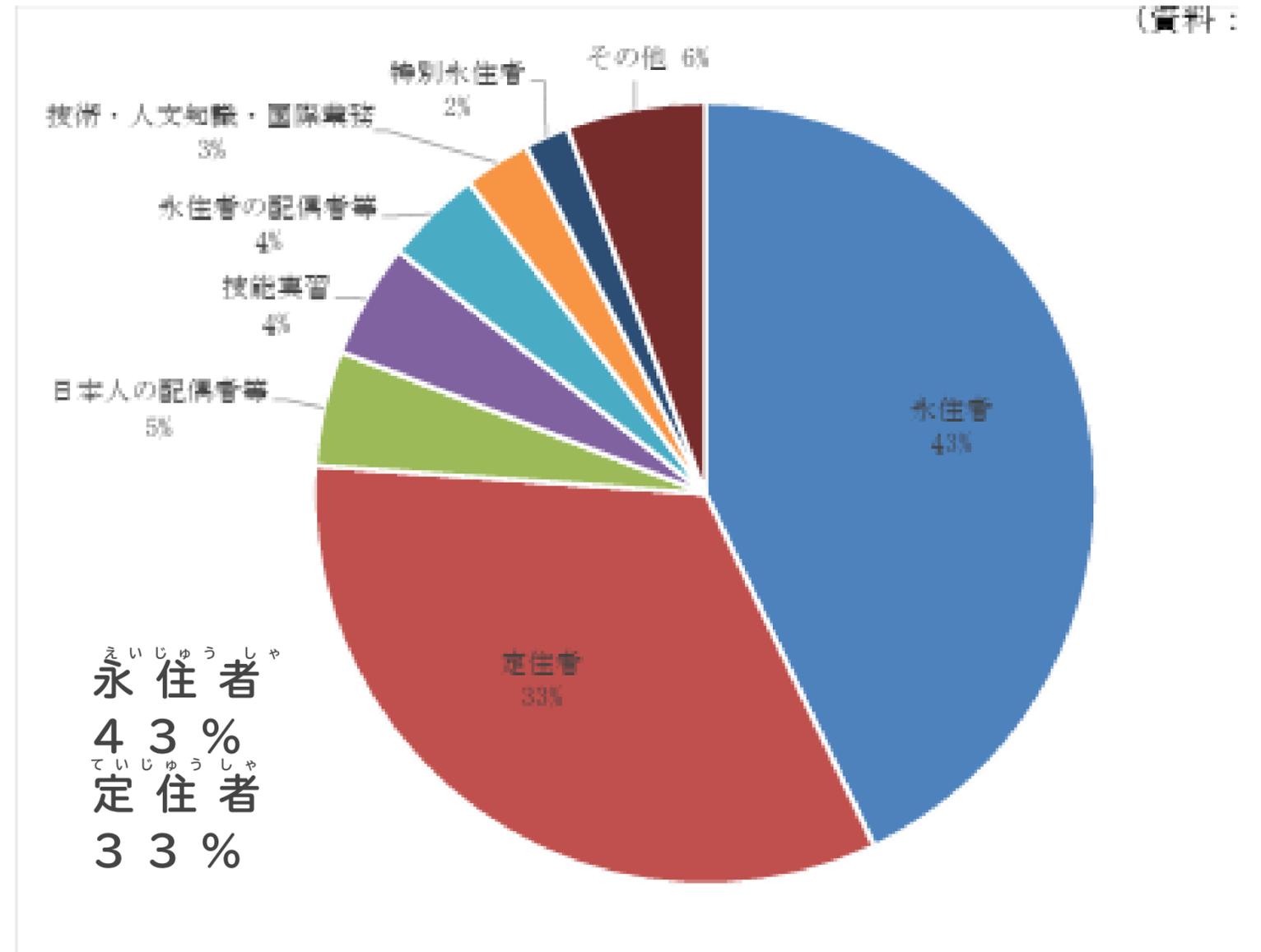


永住者・定住者が多い地域
(可児市、大垣市など)
とは状況が異なる

かにし くにせきべつじんこう ざいりゅうしかくべつじんこうわりあい 可児市の国籍別人口及び在留資格別人口割合 (2023年4月1日 現在)



フィリピン
45.9%
ブラジル
35.3%



永住者
43%
定住者
33%

在留資格×国籍(海津市)

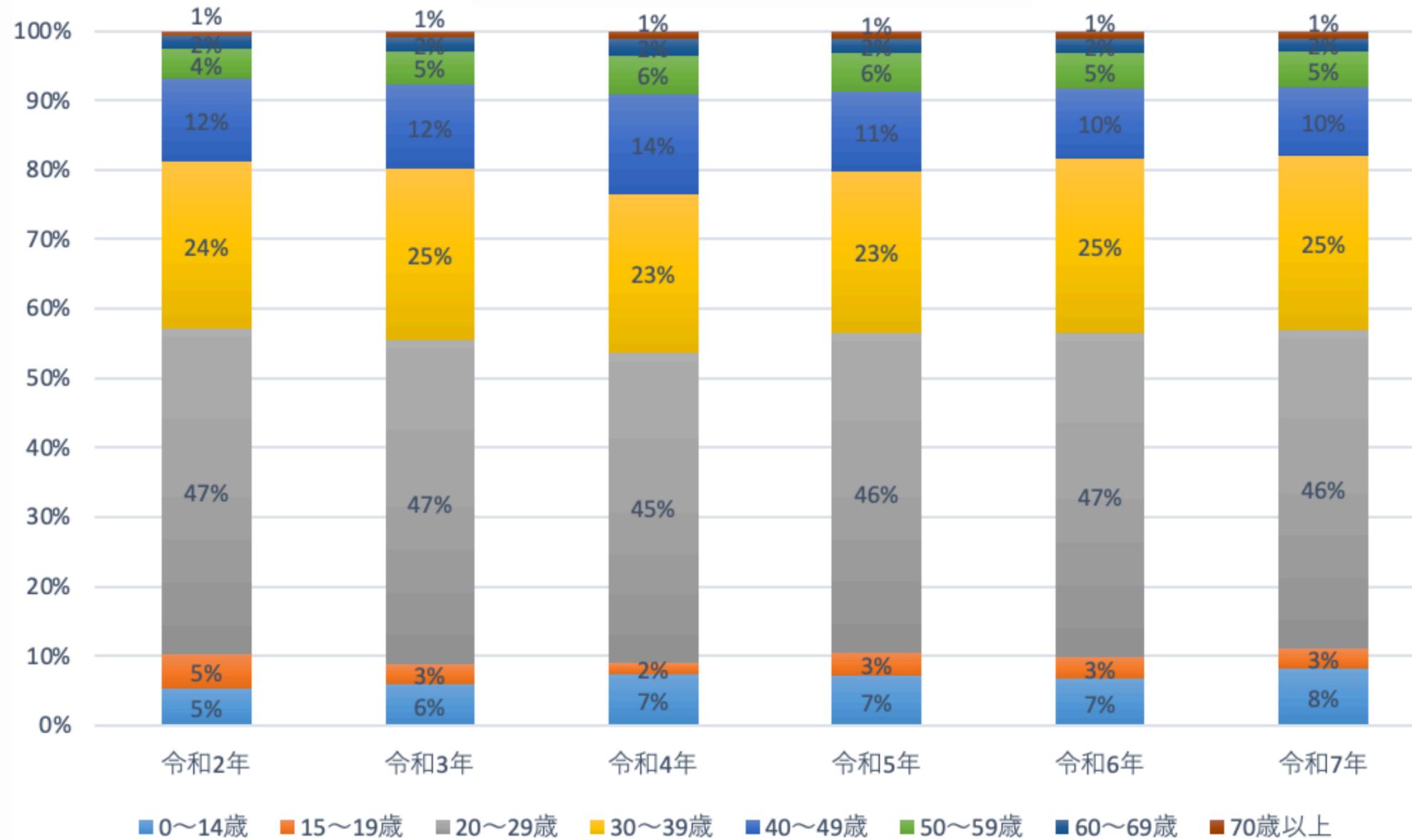
(令和6年度12月末現在)

※国籍別人数上位9位までの記載
 ハイライトは国籍別トップ3

在留資格	総計	ベトナム	中国	インドネシア	パキスタン	ブラジル	ミャンマー	フィリピン	スリランカ	ネパール
宗教	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
経営・管理	22	0	4	0	13	0	0	0	4	0
教育	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
技術・人文知識・国際業務	194	123	16	3	19	0	3	0	11	16
企業内転勤	12	7	0	0	0	0	0	0	2	0
技能	5	0	3	0	0	0	0	0	1	1
特定技能1号	129	63	14	30	0	0	7	4	0	2
技能実習	500	270	47	57	0	0	65	18	0	2
留学	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0
家族滞在	155	67	3	4	43	0	1	0	15	19
特定活動	20	10	0	0	0	0	7	0	0	0
永住者	150	4	29	0	10	57	0	18	6	2
日本人の配偶者等	26	0	3	1	0	8	0	3	1	0
永住者の配偶者等	8	1	2	0	1	1	0	1	1	0
定住者	48	0	8	0	8	25	0	3	0	0
特別永住者	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	1291	545	129	95	94	91	83	48	44	42

出典：在留外国人統計

外国人の年代別割合の推移(海津市)



- ・ 20～39歳が約7割を占める
- ・ 0歳から14歳の層が増加傾向
 令和2年：45人
 令和7年：107人

ちく べつがいこくじんじんこう かいづし
地区別外国人人口(海津市)
れいわ ねん がつ ついたち げんざい
(令和7年4月1日 現在)

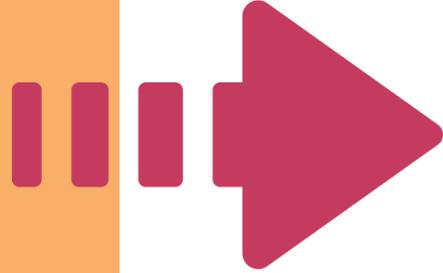
ちく 地区	にんずう 人数
たかす ちく 高須地区	263
よしざと ちく 吉里地区	26
おおえ ちく 大江地区	153
とうえ ちく 東江地区	76
にしえ ちく 西江地区	20
いまお ちく 今尾地区	276
うみにし ちく 海西地区	43
しもたど ちく 下多度地区	133
しろやま ちく 城山地区	115
いしづ ちく 石津地区	209
ごうけい 合計	1314

しゅってん じゅうみん きほん だいちょう
出典：住民基本台帳

にほんじん じゅうみん 日本人住民と がいこくじん じゅうみん 外国人住民が
いっしょ 一緒にいる こうけい 光景をどのぐらい み 見かけますか？

ほうち 放置すると何なにが起おこるか？

げんご
言語・コミュニケーション
ぶんか しゅうかん
文化・習慣
きょういく かん きょういく きかい
教育観、教育の機会
しゅうろうかん ちんぎん かくさ
就労観、賃金格差
など



へんけん さべつ こかい かくだい
偏見、差別、誤解の拡大
ぼうさい きんきゅう じたいおう こんなん
防災、緊急時対応の困難
など

ちあん あつか す まち おそ
治安の悪化や住みにくい町というイメージがつく恐れも。
し じぞく はってんかのうせい えいきょう
＝市の持続・発展可能性に影響

かお み かんけいせい がいこくじん じん
➡ 顔が見える関係性へ (外国人／〇〇人→〇〇さん)

【背景・趣旨】

- 外国人住民の増加・多国籍化、在留資格「特定技能」の創設、多様性・包摂性のある社会実現の動き、デジタル化の進展、気象災害の激甚化といった社会経済情勢の変化に対応することが必要。
- 社会経済情勢の変化を経た上で多文化共生施策を推進する今日的意義は次のとおり。
 - (1)多様性と包摂性のある社会の実現による「新たな日常」の構築
 - (2)外国人住民による地域の活性化やグローバル化への貢献
 - (3)地域社会への外国人住民の積極的な参画と多様な担い手の確保
 - (4)受入れ環境の整備による都市部に集中しないかたちでの外国人材受入れの実現

【施策】

① コミュニケーション支援

行政・生活情報の多言語化 (ICTを活用)、相談体制の整備

日本語教育の推進

生活オリエンテーションの実施

② 生活支援

教育機会の確保

適正な労働環境の確保

災害時の支援体制の整備

医療・保健サービスの提供

子ども・子育て及び福祉サービスの提供

住宅確保のための支援

感染症流行時における対応

③ 意識啓発と社会参画支援

多文化共生の意識啓発・醸成

外国人住民の社会参画支援

④ 地域活性化の推進やグローバル化への対応

外国人住民との連携・協働による地域活性化の推進・グローバル化への対応

留学生の地域における就職促進

多文化共生施策の推進体制の整備

地方公共団体の体制整備

地域における各主体との連携・協働

多文化共生の推進に係る指針・計画の策定

総務省

「地域における多文化共生推進プラン」(2020年改訂)

しゅつにゆうこく ざいりゅう かんりちよう
出入国在留管理庁
がいこくじん きょうせいしゃかい じつげん
「**外国人との共生社会の実現**
む
に向けたロードマップ」
れいわ ねんど いちぶ へんこう
(令和7年度一部変更)

外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ（令和7年度一部変更）（概要）

令和4年6月、我が国が目指すべき外国人との共生社会のビジョン、それを実現するために取り組むべき中長期的な課題及び具体的施策を示すロードマップを決定。今般、令和6年度一部変更に続き、施策の着実な実施を図るため、その実施状況について有識者の意見を聴取した上で点検を行い、施策の見直し等を実施。（105施策）

1 目指すべき外国人との共生社会のビジョン（三つのビジョン）

安全・安心な社会

これからの日本社会を共につくる一員として外国人が包摂され、全ての人々が安全に安心して暮らすことができる社会

多様性に富んだ 活力ある社会

様々な背景を持つ外国人を含む全ての人々が社会に参加し、能力を最大限に発揮できる、多様性に富んだ活力ある社会

個人の尊厳と人権を 尊重した社会

外国人を含め、全ての人がお互いに個人の尊厳と人権を尊重し、差別や偏見なく暮らすことができる社会

2 取り組むべき中長期的な課題（四つの重点事項）

1 円滑なコミュニケーションと社会参加のための日本語教育等の取組

2 外国人に対する情報発信・外国人向けの相談体制の強化

3 ライフステージ・ライフサイクルに応じた支援

4 共生社会の基盤整備に向けた取組

岐阜県多文化共生推進基本方針(2007年～)

清流の国ぎふ

第4期

岐阜県外国人材活躍・多文化共生推進基本方針

(令和4年度～令和8年度)



令和4年3月

岐阜県

【基本方針】

県内の在住外国人を地域社会を構成する「外国人県民」として認識し、県民がお互いの文化や考え方を尊重しながら、円滑にコミュニケーションを図ることにより、「すべての県民が働きやすく、暮らしやすい地域社会（多文化共生社会）」の実現を目指す。

【施策の方向性】

1. 地域における円滑なコミュニケーションづくり
2. 外国人材が活躍できる環境づくり
3. 子どもの教育環境づくり
4. 安全・安心に暮らせる環境づくり

すでに多くの町が動き始めています！

岐阜市多文化共生推進基本計画

—たぶんかマスタープラン 2025～2029—

概要版



ぎふし
岐阜市
ねん
(2010年)

第4期 可児市多文化共生推進計画

令和6年度～令和9年度(2024年度～2027年度)

策定の趣旨

外国籍市民等の定住化がますます進行していく中で、自立に向けた支援を総合的に行うことはもとより、国籍や民族などの違いにかかわらず、市民一人ひとりが地域社会を構成する一員として、将来にわたって共に支えあって暮らし続ける多文化共生のまちづくりを推進していくことが重要となります。

多文化共生のまちづくりを進めることは、多様な文化や価値観を持った市民が地域のさまざまな活動に参加し、市民主体による新たな交流や連携が深まり、誰にとっても暮らしやすく魅力あるまちの形成につながります。そして、多文化共生社会を実現していくためには、市民一人ひとりが、多文化共生を地域社会全体の共通課題として認識し、互いの文化や価値観への理解と尊重を深めながら、まちづくりの担い手として地域社会に参加していくことができる仕組みづくりと推進体制を構築していく必要があります。

このため、平成23年(2011年)には市民・行政・関係機関などが連携して、多文化共生社会の実現に向けた施策や取り組みを推進するため「可児市多文化共生推進計画」を策定しています。

本計画は、この後継計画として今後4年間の施策を策定するもので、これまでの進捗状況を踏まえ、本市を取り巻く社会情勢や新たな課題に対応しながら、多文化共生社会の実現に向けた取り組みを推進することを計画の趣旨としています。

計画の位置づけ

本計画は、可児市市政経営計画の重点方針、重点施策に関する個別計画として、可児市人権施策推進指針や他の関連計画とも整合を図りながら、多文化共生社会の実現に向けての基本的な考え方、具体的な施策及び推進体制などを定め、多文化共生のまちづくりの指針を示すものです。



かにし
可児市
ねん
(2011年)

中津川市多文化共生推進基本方針

2021～2025



令和3(2021)年3月

中津川市

なかつがわし
中津川市
ねん
(2021年)

下呂市多文化共生推進基本方針



令和4年3月
下呂市

げろし
下呂市
ねん
(2022年)

さまざまな施策(愛知県新城市の取り組みを例に)



日本語教育

多言語でのサポート

やさしい日本語の普及

生活環境の整備

子育てのサポート

教育環境の整備

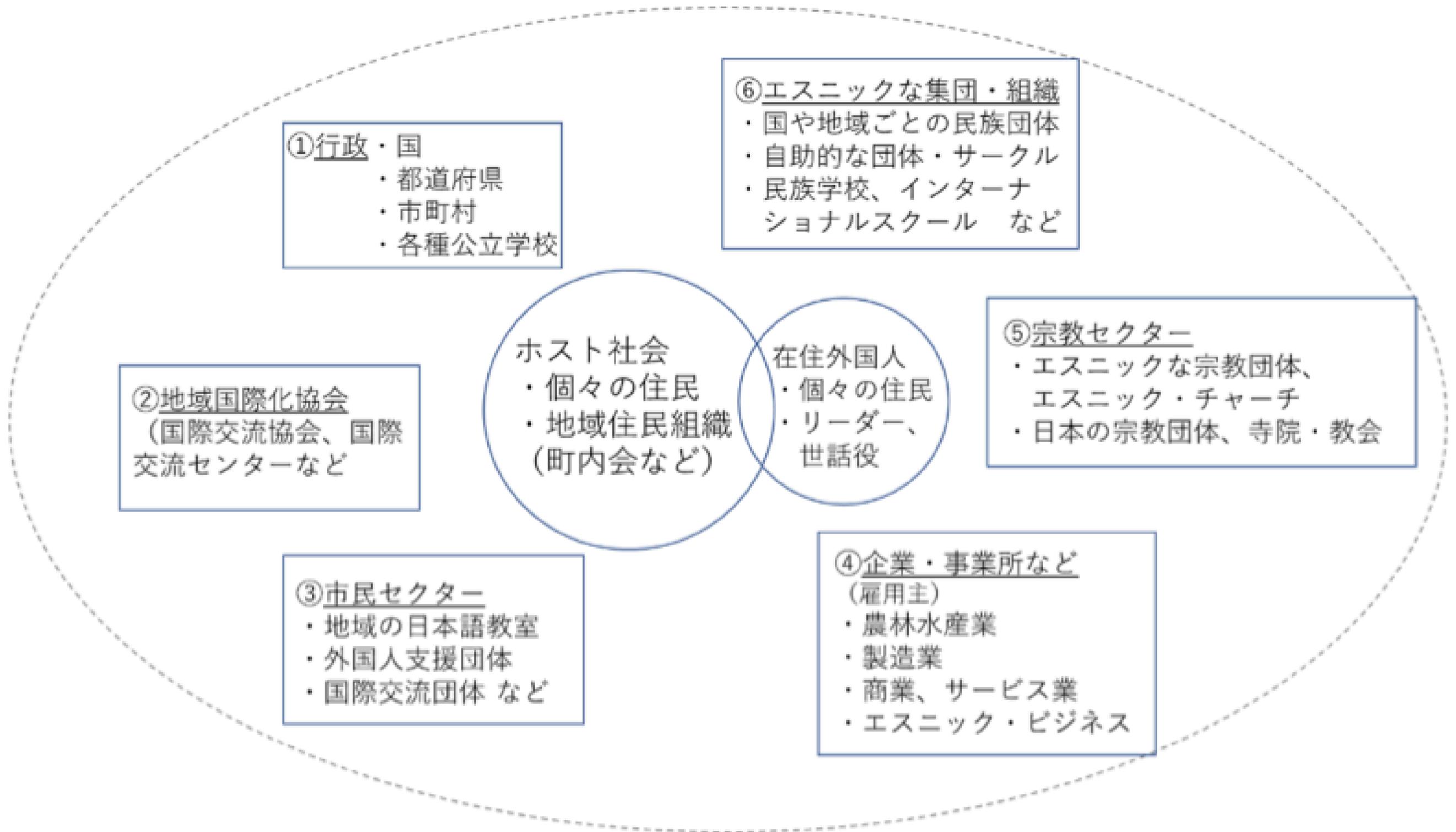
意識啓発・理解促進

交流・社会参画支援

外国籍住民の状況を理解し、
社会の枠組みを変化していく

公平性 (Equity) の視点

地方社会での外国人受け入れのローカルガバナンス構造(徳田 2023)



ホスト社会 (個々の住民、町内会など)
在住外国人 (個々の住民、リーダー・世話役)

日本人—外国人ではなく、
「海津市民」

- ①行政・国 : 関係省庁、県庁／市役所の各課、幼保小中高及び大学
- ②地域国際化協会 : 岐阜県国際交流センター
- ③市民セクター : かいづ国際交流の会、ひらた日本語教室
- ④企業・事業所など : 外国籍市民を受け入れている企業、事業所を中心に
- ⑤宗教セクター : シリサマーディビハラヤ、海津キリスト教会 など
(〔市外〕大垣モスク、岐阜モスクなど)
- ⑥エスニックな集団・組織 : SNS等でのコミュニティ (?)

ゆるやかなつながりを「デザイン」していくことが大切

なか たぶんかきょうせい いちづ
これからのまちづくりの中に多文化共生を位置付ける



<https://kaizukanko.jp>



THE アート・プロジェクト 多文化読み聞かせ隊

川崎で頑張っている 民間団体紹介 24

読み聞かせ、劇、アート、手遊びとともに、多言語と多文化を子どもたちに

私たちは、多言語での読み聞かせを中心に、朗読音楽劇やアートとのコラボレーションなども取り入れた多彩な活動をしています。2011年春に発足以来、川崎市内では「多文化フェスタみぞのくち」「多文化共生コンサート」「国際フェスティバル」など、市外では「あーすフェスタかながわ」（横浜市）、「子どもの本の日フェスティバル」（JBBY主催・東京都）などにも参加しています。また、川崎市立福田小学校や藤沢市立長後小学校では、絵本を使って国際理解授業を担当したり、東京都足立区立新田コミュニティ図書館でも「おはなしかい」を開催しました。昨年度からは、「川崎市男女共同参画センター（すくらむ21）」で開催されている「子育てほっとサロン」事業の委託団体として、小さなお子様たちにはなしや紙芝居、手遊びなどの機会を提供しています。来年4月に向けては、絵本「ロロとレレのほしのはな」（野坂悦子作）の舞台化の企画も進んでおり、11月29日（日）にキャスト募集のためのオーディションを行いました。ご興味のある方は、HP (<http://star-flower.net>) をご覧ください。また、読み聞かせ隊のメンバーもネイティブ、日本人どなたでも絵本に興味のある方を募集中です！

● THE アート・プロジェクト多文化読み聞かせ隊
● 代表：三沢純子
● 連絡先：theartpro@gmail.com、(044) 852-3034
● 活動場所：カフェ イズミ（高津区下作延3-20-5）



みぢか
身近にあるものがリソースになります。

がいこくせきむ → がいこくせきじゅうみん
外国籍向け → 外国籍住民 「も」 参加できること + 関わりあうこと。

かんも → かんも
わくわく感を持って、みんなが関わり合える場を創っていきましょう！

^{もんだいかいけつ}
「問題解決」から ^{みらいそうぞう}
「未来創造」の ^{たぶんかきょうせい}
多文化共生へ

^{だれ}
誰もが ^す
住み心地の ^{ごこち}
良い ^よ
町 ^{まち}
「海津」 ^{かいづ}
に！

参^{さん}考^{こう}情^{じょう}報^{ほう}

CLAIR^た多^{ぶん}文^か化^{きょう}共^{せい}生^{せい}ポータルサイト



岐^ぎ阜^ふ県^{けん}多^た文^{ぶん}化^か共^{きょう}生^{せい}推^{すい}進^{しん}補^ほ助^{じょ}金^{きん}



(1) 地^ち域^{いき}日^に本^{ほん}語^ご教^{きょう}室^{しつ}運^{うん}営^{えい}事^じ業^{ぎょう}

(2) 「や^ふさ^{きゅう}しい日^に本^{ほん}語^ご」普^ふ及^{きゅう}啓^{けい}発^{はつ}支^し援^{えん}事^じ業^{ぎょう}

国^{こく}際^{さい}交^{こう}流^{りゅう}・多^た文^{ぶん}化^か共^{きょう}生^{せい}推^{すい}進^{しん}事^じ業^{ぎょう}助^{じょ}成^{せい}金^{きん}

